

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

親子で登った白谷雲水峡

神山小 六年 都築 泰志

ぼくは夏休みが始まってすぐに家族と宮え
浦に行き白谷雲水峡に登りました。雲りの時
に行きました。

どんどん登って行くうちにものけ姫のお
ことぬしがいるようなかんじで根っこなど
へ出きていました。

よくパンフレットなどで見る根へ出たおっ
ことぬしを見るのと実際に見るのとでは迫力
が全くちがいました。さわって見るとちくち
くとしきました。

その横にベンチがあったのでそこで弁当を食
べました。風がふんやりして弁当がすぐあ
たたかかったのだ、そのコンビニョンがす
ごく良かったので弁当がいつもよりおいし
くかんじました。

すこし天気も悪くなリコケとかもすべるよ
うになりました。その時に雨がふりました。

お父さんが木の近くを取るとこだまが写真

No.

20×20

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

にうつつてりました。その事を人がよく言っ
ていたのであまり信じきれなかったけど本当
に雨がふつている時に写真を取るとこたまが
写ると言う事が分かりました。

雨がやんで少し休けいする時にお父さんが
買って来たおやつを食べました。とてもおい
しくおやつを食べながら空を見たらとても良
り景色でした。

あと少しの所で妹が転るんでしまいしばらく
泣き続け少しの間登れなかったけど泣きやん
だらもうすぐに頂上につきました。

大鼓岩をたたくとたりこのそのままの音が
すると聞いていたので手でかるとたたりて見
ました。あまり音が聞こえなくて手がちんち
んして痛かったのとんかちで本気でたた
て見ました。そしてたら本当にポンポンと
言うたりの音がしました。

山のさきの方へ行つて見ると体じゅうとり
はだかたちすぐこわくなりました。
本当にしらなり事もしれとうそだと思つて

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

いた事もしれたの之本当に良かったです。
夏休み最初の良い思い出ができたので良かった
です。

No.

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

